

遠野市景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する条例の一部改正について

永遠の日本のふるさと遠野として守り続けてきた景観資源を保全するとともに、災害の発生防止を目的に条例改正を行う。
今後の太陽光発電事業については、抑止効果期待される。
(条例施行日 令和2年6月1日)

【条例改正要旨】

- ① 景観資源等の保全及び災害の発生防止のため、太陽光発電事業を抑制する区域を市内全域に指定する
- ② 届出制↓許可制(3千㎡を超える場合)
- ③ 1万㎡以上の太陽光発電事業は許可しない
- ④ 1万㎡未満であっても許可しない場合がある
- ⑤ 事業者は地域住民等の意見を聞き尊重すること
- ⑥ 土地所有者等は景観資源等を損ない又は、災害発生の恐れのある事業者に土地を使用させない

景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との更なる調和へ

条例改正の目的

景観資源の保全、災害の発生防止。小友町外山川のような濁水被害等を二度と起こしてはならず、厳しく太陽光発電事業を規制する。

施行日を6月1日としている理由は。

規制が強い条例であり周知期間が必要。

太陽光発電に限定せず、他の再生エネルギー開発に対しても基準を設けるべきでは。

基準を設けることは可能であるが、守られなかった場合の罰則規定や基準通りに実施されているかの監視等、今後の検討課題である。



美しい景観を守りたい

なっている。中心は、60代から70代。

新しい農業の担い手を育てることが必要と思われるが。

認定農業者は、国の基準で行っていて緩やかな。営農組合への支援は、農協、普及センターと連携していく。

高齢化する現状にあつて地域農業をどう進めていくのか。

令和2年度は41地区において、人・農地マスタープランの作成にあたり共にタフビジョンの検証も行う。関係者と十分協議を重ねたうえで計画づくりを促したい。

農業の担い手育成とマスタープラン

まないのか。

通年雇用の部分で冬が生産に難しいところがあるが、圃場整備をきっかけに法人化される場所が増えてくると見込んでいます。

農業人口が減っている状況で経営規模は拡大している。しかし、法人化されている組合は3組織にとどまっている。なぜ法人化が進

認定農業者の現状はどうなっているか。ゆるやかな減少と

認定農業者とは 農業経営基盤強化促進法に基づく農業経営改善計画の市町村の認定を受けた農業経営者・農業生産法人のこと。

消防団活動の充実強化を

消防団協力事業所の現状は。

22事業所が認定されている。団員の出勤について、更なる協力が得られるよう取り組みを検討する。

消防団応援の店登録事業の現状は。

市内ではまだ理解が進んでいない。協力いただけるよう今後も努力する。

団員確保の取り組みは。

消防団の役割や共済制度等の周知、一人ひとりの得意分野で活動できること等を伝えながら、地域に入つて団員確保に努めたい。

※消防団応援の店登録事業 登録店舗・事業者の皆様から特典や割引等を提供していただき、消防団を応援する県の制度

公共施設のランニングコスト

自主財源の少ないなか、千葉家の整備が令和9年まで行われる。財源は。

文化庁の補助が65%、残り35%に過疎対策事業債をあてる。

過疎債を充当できるのは令和2年度までである。その後どのように維持されるか。

過疎債は、令和2年度で終了となるが、



現在整備中の千葉家

他自治体一体となって新しい過疎法設立に向け、要望活動を行っている。今後も有利な財源を確保して事業を進める。

公共施設の維持管理費の増大は、最後は市民負担となる。ランニングコストの見込みを示してほしい。

今後算定し、示したい。

※過疎対策事業債とは 過疎地域自立促進特別措置法(過疎法)による財政上の優遇措置の一つで、償還金の7割を地方交付税として国が補てんするため、過疎地域の重要な財源となっている。 現行の過疎法は時限立法で令和2年度終了する。

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等の一部をご紹介します。(文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。)

議会だより60号を読んで市議会の様子がとてもわかりやすくて全部読むことが出来ました。表紙の生け花教室の写真がかわいいね。もうちょっとくわしく教えていただければと思いました。住みよい遠野市をつくる為、今後共活発な議会討論をよろしくお願い致します。(土淵町、80歳、女性)

「子ども本の森」の充実とともに市立図書館の充実を願うものです。「いきいき」した図書館であつて欲しいのです。(小友町、69歳、女性)

いつも議会だより拝見しています。よみやすく工夫されていて有難うございます。ただ印刷があまりに立派でもうすこし簡素化しても…とも思います。(附馬牛町、61歳、女性)

市民の声



遠野市がどのように変わっている→高齢者、未来のありかたが気になり、広報誌みてますよ。議員一人一人の考え市民からの意見どの様に問・答になったのだろうかとみています。農畜商、発展するように、農畜商、福来る様に活躍に期待しています。(土淵町、62歳、男性)